

教育福祉学部社会福祉学科の学生グループが、子ども虐待防止オレンジリボン運動「学生によるオレンジリボン運動全国大会」で特別賞（厚生労働省・虐待防止対策推進室・室長賞）を受賞しました。

2月17日（日）に特定非営利活動法人「児童虐待防止全国ネットワーク」主催による子ども虐待防止オレンジリボン運動「学生によるオレンジリボン運動全国大会」が開かれ、本学教育福祉学部社会福祉学科の学生グループ（指導教員：教育福祉学部社会福祉学科・村田一昭准教授）の活動報告『村田ゼミによるオレンジリボン運動』が、特別賞（厚生労働省・虐待防止対策推進室・室長賞）を受賞しました。

この大会は、特定非営利活動法人「児童虐待防止全国ネットワーク」が近い将来親となる若者に対する子ども虐待防止に係る啓発の一環として行っている「学生によるオレンジリボン運動」を、今年度実施した全国の大学・専門学校など60校のなかから、第1次審査を通過した7校によって、その活動内容の発表が行われたものです。

本学教育福祉学部社会福祉学科の学生グループは、昨年9月からゼミ活動の一環として取り組んできた以下の活動について報告を行いました。

- ① 児童虐待防止全国ネットワーク事務局及び児童福祉施設訪問
- ② オレンジリボン運動啓発ポスターの作成・掲示
- ③ オレンジリボン運動グッズ（自作のしおり）の作成と配布
- ④ 教育福祉学部在校生（1年生）への学内学習会の実施
- ⑤ 「児童虐待認知度調査」の実施と結果
- ⑥ 未来の子どもたちに向けたメッセージの記入と掲載

その結果、活動内容の報告だけでなく、分析を丁寧に行っているという点が「学生らしい」と評価され、同賞を受賞しました。

詳細：2/17 学生によるオレンジリボン運動 全国大会開催のご報告

（特定非営利活動法人「児童虐待防止全国ネットワーク」ホームページ）

<http://www.orangeribbon.jp/info/npo/2019/02/217.php>

